

ここ数年間、特に『力の歪み』からの
原因と思われる訴えで、
来院された患者さんの言葉を集めました。

《視》

- ・姿勢が悪い。（猫背になってきた。）
- ・肩が片方下がっている。
- ・写真を撮ると、なんとなく顔や頭が曲がっている。
- ・口角の高さやほうれい線に左右差がある。
- ・頬が片方だけ発達している感じがする。
- ・頬がパンパンになってきた。
- ・目の大きさが左右異なっている。
- ・口唇が余っている感じがする。
- ・顔の下半分が最近短くなってきた。
- ・上下の噛み合わせが悪い。（例 出っ歯、受け口、口元が歪んでいる）
- ・歯並びが悪い。（例 八重歯、乱抗歯）
- ・歯が内側に倒れている。
- ・頬が下がってきている。
- ・左右の高さが異なる。（上顎の犬歯）
- ・奥歯がすり減ってきている。
- ・歯と歯茎の境目が削れてきている。
- ・歯肉が下がってきている。
- ・下の歯が見えにくい。（かみ合わせが深くなっている。）
- ・口唇や舌に、何かの跡がついている。
- ・ぽかーんと口が開いているときがある。
- ・前歯がすいてきている。前歯が前に出てきている。前歯が片方に傾いている。

《聴》

- ・口を開け閉めすると、顎関節の音が鳴る。
(例 カクン、ボキン、グキリ、コキッ、カキッ、カクカク、ゴツゴツ、ジャリジャリ)
- ・発音が不明瞭である。または、聞き取りにくいと言われる。
- ・耳鳴りがする。 ・耳閉感がある。
- ・歯ぎしりをする。
- ・食事をするとき、クチャクチャ音が変と言われる。
- ・口蓋の舌の「ラ」の位置で、「トウツ」「トウツ」「トウツ」と鳴らせない。

《臭》

- ・お手入れをまめにするのに、口臭が気になる。
- ・鼻がいつもグズグズしている。

《味》

- ・最近、金属のような、銀紙を噛んでいるような、酸っぱいような味がする。
- ・乾燥したごはんを噛んでいるような感じがすることがある。
- ・口が渇く。 ・唾液が多すぎる。
- ・胃腸が弱い。(すりつぶせない。)
- ・最近、食べ物の味がしない。(味わえない。)

《触》

- ・唇頬を噛んでしまう。(いつも同じところ。)
- ・口唇を巻き込んでしまう。 ・口唇をよく舐める。口唇が荒れている。
- ・あごに固いふくらみがある。
- ・歯と歯のあいだに、食べ物がよくはさまる。 ・話しづらい。
- ・舌がヒリヒリしたり、もつれたりする。
- ・野菜など、繊維状のものが噛みにくい。
- ・固いものが噛みにくい。 ・くいしばる癖がある。

- ・どうしても高い気がする歯、ずれる歯、ひっかかる歯がある。
- ・片方噛みが多い。または、前噛みが多い。
- ・片方が噛みにくい。（左右バランスよく噛めない。）
- ・なぜかガムを噛んでいないと落ち着かない。
- ・前歯や臼歯に、舌を押し付けてしまう。（つばを飲むときに舌を口蓋に付けられない。）
- ・歯と歯のあいだに舌を入れていないと落ち着かない。
- ・ものを飲み込むとき、ひっかかる感じがする。
- ・つばを飲んでむせてしまう。
- ・どこで噛んでよいか分からないときがある。（左右均等に噛めない。）
- ・前歯のつめものが何度つけても取れてしまう。
- ・ハンカチや指を噛みたい。

『痛む』

- ・虫歯ではないと言われるのに、歯がしみる。
- ・噛めない入れ歯、揺れる入れ歯、はずれる入れ歯、疲れる入れ歯、狭い入れ歯、つらくて使えない入れ歯
- ・前歯が針で刺されたように痛くなることがある。
- ・いつもは何でもないのに、噛もうとすると歯が痛くなる。
- ・腫れたりひいたりを繰り返している歯肉
- ・何度も噛んでしまう頬、唇、舌
- ・噛んだわけではないのによくできる口内炎、口角炎
- ・大きく開けようとする痛いあご
- ・さわると痛む、あごや筋肉
- ・指で押さえたり、走ったり、下を向いたりすると目の下あたりが痛い。
- ・頭、肩、首、目の奥などが痛むことがある。
- ・手足のしびれを感じることもある。

『息』

- ・口呼吸が多い。
- ・いびきをかいていると言われる。
- ・無呼吸症候群だと診断されている。
- ・よくおならやゲップが出る。
- ・のどが狭くて、息苦しいときがある。
- ・口が渇く。

『何度もとれる、はずれる、われる』

- ・さし歯
- ・つめもの、かぶせもの
- ・入れ歯（義歯）



すかの歯科

菅野 裕康 院長